

## 国道 138 号拡幅に伴う周辺地域まちづくり検討委員会(第 1 回) 議事内容

日時：平成 25 年 11 月 19 日(火) 17:00～18:30

場所：富士吉田商工会議所 2 階 (大会議室)

## ■委員会出席者

慶應義塾大学環境情報学部 准教授	中島 直人 (委員長)
新屋連合自治会 連合自治会長	小俣 一雄
上宿連合自治会 連合自治会長	渡瀬 英次
中宿連合自治会 連合自治会長	渡邊 稔
富士吉田商工会議所 専務理事	佐藤 文彦
富士急行株式会社 代表取締役社長	堀内 光一郎 (代理：土屋)
財団法人 ふじよしだ観光振興サービス 常務理事	滝口 明 (代理：小山田)
富士吉田市企画総務部 部長	権正 文雄
山梨県富士東部建設事務所吉田支所 支所長	高井 達也 (代理：深澤)
山梨県県土整備部道路整備課 課長	大久保 勝徳 (代理：萩原)
国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所 事務所長	吉岡 大藏

## ■議事内容

国道 138 号拡幅に関して今後検討する上での意見、要望について

## ■意見集約

- ①道路整備だけではなく、まちづくりと一体で検討することが重要である
  - ・沿道を含めて多様な歩行環境の形成が必要
  - ・富士山駅、金鳥居まで来訪者を入れ込むような観光施策が必要
  - ・上吉田の歴史、古いまちの保全が出来るような整備
  - ・富士山の風景を活かしたまちなみや道路整備
  - ・多様な関係者と議論して実現していく仕組み、プロセスが重要
- ②道の駅周辺と御師のまちの 2 核の役割分担と連携が必要である
- ③拡幅によって、まちの分断要因とならない整備が必要である
  - ・地域コミュニティの分断とならない工夫が必要
  - ・沿道との段差への対応が重要
- ④中曽根地域、下宿地域の代表の方も検討委員会に参加いただいたほうがよい

